

## 声明文

日本言語学会は、言語の科学的研究の進歩・発展に寄与することを目的として設立され、今年で80周年を迎えます。言語研究に関心を持つすべての人に開かれた学会として、年に2回の研究大会、機関誌の刊行、そして1999年より夏期講座を開催してきました。

今年で11回目となる夏期講座が8月に東京都内の大学で開催されましたが、そこで、重大な出来事がありました。ある講義の教室内で、受講生の女性が背後に座っている別の受講生の男性から臀部を複数回継続的に触られたという訴えがあったのです。その後、その女性は精神的に深刻なダメージを受け、受講が続けられなくなりました。

被害に遭われた方に、講座の主催者として心よりお詫びを申し上げます。

学会が主催する講座で、このような事態は決して起こってはならないことです。日本言語学会は、学会が主催する大会や講座等で二度とこのようなことが起こらないよう、速やかに学会としての対応策を講じる所存です。

2018年11月17日  
日本言語学会 会長  
田窪 行則